

令和2年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金（慢性の痛み政策研究事業）  
分担研究報告書

慢性疼痛診療システムの均てん化と  
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究

研究分担者 丸山 一男 三重大学大学院医学系研究科麻酔集中治療学 教授

**研究要旨**

多職種連携を意識した集学的な慢性疼痛治療と、教育の基礎となるシステムの構築をとおし、長期的な視野で、慢性疼痛診療システムの均てん化を図るべく活動している。今年度は、新型コロナ対策を意識した対応となり、Web や電話を用いた方法が、教育や診療の現場に取り入れられた。こういった方法には、長所短所があり検討が必要である。長所については、今後の新型コロナの消長如何に関わらず活かしていける可能性がある。三重大学医学部附属病院では、外来での理学療法を行えずにいたが、2019 年度から麻酔科ペインクリニック外来の枠組みで、理学療法師1名にて外来対応を開始している。2019 年度の分析では、年齢層が高く、主に運動療法がおこなわれている傾向である。「慢性疼痛患者レジストリの構築と登録に関する研究」については、院内で倫理審査を申請し承認を得た（承認番号 H2020-239）。

**A. 研究目的**

新型コロナ対策を意識し、Web を用いた手法が、教育の現場に入ってきている。影響を収集し検討する。2019 年度の外来での理学療法について受診患者の動向を把握する。

**B. 研究方法**

- 1) オンライン対応に備え、「慢性疼痛に関する医療者の育成にあたる教官」を対象に、オンライン・ファシリテーション研修会を Web で開催した（2020 7/17 13:30～15:30）。参加者からのフィードバックのうち、利用許可を得られた約 15 名分を検討。
- 2) 三重県慢性疼痛診療研修会を Web で開催した（第 3 回 2020 12/6 9:00～12:05）（第 4 回 2021 2/27 13:00～17:00）。参加者からのフィードバックのうち、利用許可を得られた合計 80 名弱のものについて検討。
- 3) 2019 年度、三重大学医学部附属病院ペインクリニック外来に併設の理学療法（以下 PT）外来を受診した 170 名について検討（年齢、性別、介入方法、等）。

（倫理面への配慮）

- 1), 2) については、フィードバック記載にあたり、目的を開示し、記載内容の使用について同意を得られたもののみを使用。
- 3) については、当院倫理委員会の承認を得ている。

**C. 研究結果**

- 1) 技術的な知識の確認や獲得以外に、Web で研修会を「受ける立場での気付き」に、価値を見出すコメントが目立った。
- 2) 初めて聞いた内容とのコメントが散見される一方、スライドの内容について、理解しやすかったとの声が目立った。小グループでのディスカッションなど時間配分については意見が分かれた。全体として、満足とのコメントが圧倒的に多かったが、今後の要望として、具体的で実践的な内容を望む声があった。Web に不慣れとの声がある一方で、Web 研修会の今後に期待を寄せる声が目立つ。他県との比較は不明だが、鍼灸師の積極的な参加がある。
- 3) 平均年齢は 61～2 歳で、男性より女性が多かった。PT 介入内容は、自宅での運動継続を目指したものが主であり、物理療法・徒手療法より、運動療法が多かった。

**D. 考察**

教育に広範に Web を用いることは、始まったばかりであり、講義や研修会をする側と、受ける側、双方の経験の蓄積や工夫、ソフトや機器の進歩によって、様々な可能性が広がる。学生対象のワークショップでは、模擬患者と学生（医療者役）でのロールプレイを、実際に、Web にて行い得ており、好評であった。対面でできる多くは、工夫により Web でも可能かもしれない。ただ、対面での対応に慣れてきていた教官にとっては、負担の増加がある。

当院では、外来での理学療法は、始まったばかりである。患者のADL・QOLの改善が、実績として実証されれば、人員の増加に繋げられる可能性が出てくる。

## E. 結論

当附属病院での慢性疼痛医療への取り組みは、発展途上である。

## F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) 丸山一男, 横地 歩, 坂本 正: 術後痛・発熱. 周術期の薬の使い方 パーフェクトガイド, 月刊薬事, 63(2), 122-131, 2021
- 2) 野瀬由圭里, 高村光幸, 横地 歩, 丸山一男: 悪性リンパ腫に対する化学療法後の末梢神経障害に灸施術が奏功した一症例, 日本東洋医学雑誌, 印刷中, 2021
- 3) 牛田健太, 丸山一男, 横地 歩, 島岡 要, 他: 「地域総活躍社会のための慢性疼痛医療者育成事業」2020年度ワークショップのオンライン開催の報告-2019年度の対面形式授業と比較して-, 三重大学高等教育研究, 27, 57-66, 2021
- 4) 丸山一男, 牛田健太: 厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業(東海・北陸ブロック)三重セクション [令和2年度] 文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム(慢性の痛みに関する領域) 「地域総活躍社会のための慢性疼痛医療者育成事業」[平成28年度~令和2年度] 事業報告書, 慢性疼痛チーム医療者育成プログラム打ち合わせ会議, 2021.

### 2. 学会発表

- 1) 丸山一男 他. 地域総活躍社会のための慢

性疼痛医療者育成事業. 日本ペインクリニック学会 54回学術集会. 2020. 10. Web(信州大学).

- 2) 上條史絵 他. 頭痛と腹痛を主とした難治性疼痛の1例 - mentalizationの視点からの考察. 日本ペインクリニック学会 54回学術集会. 2020. 10. Web(信州大学).
- 3) 牛田健太 他. 卒前の慢性疼痛教育プログラムの過去3年間の教育成果について. 日本ペインクリニック学会 54回学術集会. 2020. 10. Web(信州大学).
- 4) 横地 歩 他. ミロガバリン投与にあたり本人や内科医との情報共有が肝要と感じた3症例(空腹時血糖とHbA1cの変化). 日本ペインクリニック学会 54回学術集会. 2020. 10. Web(信州大学).
- 5) 横地 歩 他. 慢性疼痛事例での「行動分析に基づく心理教育」の効果 アルプラゾラム減薬例. 日本認知・行動療法学会 46回大会. 2020. 9. Web(広島大学).
- 6) 牛田健太 他. 慢性腰背部痛と運動恐怖を抱えながらも、自宅で運動療法を継続できた1例. 日本ペインクリニック学会 第1回東海・北陸支部学術集会. 2021. 3. Web(岐阜大学).

## H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

- |           |    |
|-----------|----|
| 1. 特許取得   | なし |
| 2. 実用新案登録 | なし |
| 3. その他    | なし |

## I. 参考文献

- 1) 「今後の慢性の痛み対策について」厚生労働省 (<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000000ro8f.html>)
- 2) 慢性疼痛医療者養成プログラム (<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/chrpain/>)

## 研究協力者

三重大学附属病院 痛みセンター  
副センター長 横地 歩

センター員 牛田 健太